

# 社会福祉施設連絡会通信(No.40)

皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

今回は、令和6年度第2回総会や第4回研修会などの取り組みをご報告いたします。

## 【第2回 総会】

### 1. 開催日

令和7年3月25日(火)  
午後2時～午後2時30分

### 2. 場所

八尾市プリズムホール4階

### 3. 次第

#### 【第1部 総会】

- (1) 開会挨拶
- (2) 議長選出
- (3) 議案審議

- ① 令和7年度事業計画(案)について
- ② 令和7年度予算(案)について

#### (4) 報告事項

- ① 役員欠員に伴う補充について
- ② 「重点支援地方交付金」の追加支給に伴う社会福祉施設への物価高騰対策支援に関する緊急要望書の提出について
- ③ 令和7年度第1回総会について

#### 【第2部 研修会】

##### (1) 研修会

テーマ 「地域における包括的な支援体制の構築と大阪しあわせネットワークについて」

講師 社会福祉法人大阪府社会福祉協議会  
施設福祉部 部長 梅木 誠 氏

##### (2) 報告事項

テーマ 「八尾市居住支援協議会の設置について」  
報告者 八尾市地域共生推進課 徳光課長  
八尾市住宅政策課 北園課長

##### (3) その他

- ① 社会福祉法人の財務諸表等電子システムにおける公益的な取り組みについて
- ② 社会福祉法人における地域貢献事業の意向調査について

荒井会長(社会福祉法人八尾隣保館)より総会開催にあたり、「複雑多様化する地域課題を解決にあたって社会福祉法人の地域貢献事業の取り組みが期待されている。

八尾市では、社会福祉施設連絡会において高齢・障がい・児童分野の社会福祉法人同士がさらに連携を深めていけるように取り組んでいる。」と挨拶があった。



▲ 荒井会長の開会の挨拶

その後、総会の成立宣言があり、議長に佐分幹事(社会福祉法人虹のかけはし)が選出された。

令和7年度事業計画(案)を辻幹事(社会福祉法人 風の会)並びに予算(案)を前田幹事(社会福祉法人朋寿会)が報告し、その後、質疑とくになく、異議なく承認された。

報告事項として、藤井幹事(社会福祉法人 清裕会)の退任を受け、後任として、浅井 孝一 氏(社会福祉法人 あげぼの会)が就任されたことを秋本副会長(社会福祉法人恵生会)より報告した。

次に、「重点支援地方交付金」の追加支給に伴う社会福祉施設への物価高騰対策支援に関する緊急要望については、高齢・障がい・児童分野の社会福祉法人の共通課題であることから、社会福祉施設連絡会名において令和7年2月7日(金)に八尾市健康福祉部当座部長に提出したことを事務局より報告した。

## 【第4回 研修会】

社会福祉法人大阪府社会福祉協議会 施設福祉部 梅木部長より「地域における包括的な支援体制の構築と大阪しあわせネットワークについて」をテーマにご講演いただきました



▲大阪府社会福祉協議会 梅木部長の講演

これまでの社会福祉法人が取り組んできた地域貢献事業の経緯や今後、社会福祉法人に期待される役割などを報告頂きました。

特に、国が提唱している「地域共生社会」の担い手としての社会福祉法人の役割では、高齢や障がい、児童分野を横断した支援を提供し、地域の実情に応じた包括的な対応を進めることが期待されているとありました。

そのためには、社会福祉法人自身の経営基盤の強化と持続可能な運営や人材確保と育成が大切であるとともに、高齢化や人口減少に伴う社会課題への対応も重要視されており、積極的な地域に根差した包括的な支援を展開することが求められており、成年後見制度の見直しや人材不足への対応など現代的な課題への柔軟な対応を期待していると総括しました。

今後の「大阪しあわせネットワーク」の体制については、これまで事業専属の「社会貢献支援員」を府内施設等に配置・駐在し、施設とともに事業を推進してきたが、令和7年度以降は「しあわせネットワーク」として府社協本部に集約し、市町村域での施設と社協の顔の見える関係づくりや協働事業の助言、実践の見える化等を主な役割とし、市町村域での実践を効果的・効果的にフォローで

きる体制にシフトしていく報告がありました。

※八尾市担当の「しあわせネットワーク」  
工藤 敏治 氏 末包 ミカ 氏

### 【報告事項】

#### (1) 八尾市居住支援協議会の設置について

八尾市地域共生推進課 徳光課長、住宅政策課 北園課長より説明がありました。

身寄りのない高齢者など住居確保要配慮者の相談が増加していることや居住支援法人への負担増などの現状を踏まえ、八尾市では令和7年4月に「八尾市居住支援協議会」を設置します。

居住支援協議会では、市、社協、不動産関係団体、居住支援法人などで構成され、住居確保要配慮への円滑な入居や福祉関係者などサポートによる安心して暮らし続けることが出来ることを目的としているとありました。

#### (2) その他

##### ① 社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムにおける公益的な取り組みについて

毎年、6月末までに全ての社会福祉法人において提出が必要となっている現況報告書の「地域における公益的な取り組み」を記載するにあたり、参考になる取組みの紹介を事務局より行った。

##### ② 社会福祉法人における地域貢献事業についての意向調査について

各社会福祉法人の地域貢献事業への取り組み意向を確認するためにアンケート調査を実施する旨を事務局より報告した。

閉会の挨拶では、五十嵐副会長（社会福祉法人日本コイノニア）より「本日学んだことを今後の地域貢献事業の参考としたい」とあった。



連絡先 八尾市社会福祉協議会  
社会福祉施設連絡会事務局 海道・中辻・中原